

科 目		必・選	担 当 教 員		学年・学科			単位数	授 業 形 態				
学外実習 (Internship)		選	山田 宰		4 年生 環境都市工学科			1	夏季休業中 30時間以上				
授業概要		学外実習は、これまでに学習した環境都市工学に関する専門知識等を活用し、夏季休業中に企業等で就業体験や大学等で研究体験を行うものである。実習先と実習期間は学校を通じて決定される。実習終了後、実習報告書を作成し、実習成果発表会を実施する。											
到達目標		(1)実習先の就業規則等に従い、30時間以上の就業または研究体験を誠実に行う。 (2)学外実習の内容（社外秘を除く）を整理し、報告書を作成できる。 (3)学外実習の内容（社外秘を除く）を整理し、口頭発表を行うことができる。											
評価方法		実習前講習10%、就業・研究体験30%、実習報告書40%、実習成果発表20%で評価し、60点以上を合格とする。ただし、上記評価項目にいずれかにおいて0%の場合は不合格とする。											
内 容										学習・教育目標 C-3			
第 1 週		4－ 6 月：学外実習内容の説明・事前準備 和歌山県インターシップ 制への登録 受け入れ機関の紹介 実習申込み・決定 7－ 8 月：実習（5日間程度以上） 実習報告書作成 9－11月：実習発表用資料作成 ：実習発表会にて発表											
第 2 週													
第 3 週													
第 4 週													
第 5 週													
第 6 週													
第 7 週													
第 8 週													
第 9 週													
第10週													
第11週													
第12週													
第13週													
第14週													
第15週													
第16週													
第17週													
第18週													
第19週													
第20週													
第21週													
第22週													
第23週													
第24週													
第25週													
第26週													
第27週													
第28週													
第29週													
第30週													
(特記事項)			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
												◎	

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。）

学外実習 4学年

環境都市工学の技術について、実社会での具体的な活用方法や技術習得の重要性を体験する。学外実習の概要は次のとおりである。

①実習機関の決定

4－6月：学外実習内容の説明・事前準備
和歌山県インターシップ制への登録
受け入れ機関の紹介
実習申込み・決定

②実習・体験学習

7－8月：実習（5日間程度以上）
実習報告書作成

③実習報告・発表

9－11月：実習報告書提出
：実習発表用資料作成
：実習発表会にて発表

実習受入れ企業の例：国土交通省、和歌山県、和歌山市、海南市、田辺市、御坊市
西日本高速道路、水資源機構、大阪ガス、西日本電信電話、
駒井ハルテック、高田機工、鴻池組、西松建設、五洋建設、
環境テクノスなど